導入検討プラン 05 / 供給と運営を支える

認定後の現場で、判断と相談をつなぐ

機器・装置のサービス

技能体系や専門訓練を整え、担当者が新しい顧客拠点で仕事を始めるとき。認定後も支援を要する場面と、現地から専門家へ戻す情報を具体化します。

> 目指す仕事の状態
>
> 担当者が認定された範囲を守って仕事を進め、現地の例外条件を適切な情報とともに専門家へ相談できる。

当社が担う仕事

01 現地で使う場面を選ぶ

一つの装置・職務を対象に、訓練内容が使われる場面と、条件の違いで支援が要る場面を整理します。

02 相談する条件をそろえる

現地で確かめる情報、専門家へ相談する時点、現地指導者の役割を技術担当と決めます。

03 立ち上がりを確かめる

顧客対応の経過と必要だった支援を振り返り、次に任せる仕事と支援の範囲を見直します。

最初に試す一件

認定を終えた担当者の初期案件を一つ選び、現地で必要となった判断、相談、専門家の支援をたどります。

導入と、実践後の確認

最初に確かめること

- 認定後にも、現地で支援が必要となるのはどの場面ですか。
- 顧客の新しい条件は、誰が把握して技術部門へ伝えていますか。
- 現地の指導者と専門家は、どの情報があると支援できますか。

社内に残すもの

- 訓練内容と現地業務の対応
- 例外時の確認項目と相談経路
- 立ち上がりと支援内容の確認記録

実践後に確かめること

- 技能基準を満たした範囲での仕事の立ち上がり
- 例外時の相談と顧客対応の品質
- 現地指導者・専門家に必要だった支援時間

一緒に進める人と役割

技術部門・現地責任者	技能基準、任せる範囲、専門家への相談経路を決めます。
現地担当者・指導者	基準に沿って実務を行い、例外条件と支援の経過を残します。
当社	実務課題と支援の受け渡しを設計し、記録の振り返りを支えます。

実施条件と、役割の範囲

技術基準を持つ専門部門と現地責任者が参加し、現地の実務と相談記録を確認できるようにします。 技術内容の認定や安全の判断は専門部門が担います。当社は実務経験と支援の設計を担当します。

支援を組み立てる根拠

実務で判断を育てる経験設計と役割の確認方法を用います。装置の技能・安全基準は専門部門と共同で扱います。

実務の確認・設計・実践支援の範囲に応じ、期間と費用をご提案します。

ご相談：requestgroup.jp/request

公開情報調査（2026年11月1日）から構成した検討案。

詳細を見る